

足立区議会議長 た だ 太 郎 様

足立区議会議員 25 番 長 沢 興 祐 印

文 書 質 問 書

会議規則第60条の2第2項の規定に基づき、次のとおり文書質問書を提出します。

記

テ ー マ 及 び 質 問 項 目

1 インフラのさらなる徹底した安全対策について

高度経済成長期に整備された足立区内のインフラは、長年にわたり私たちの生活基盤を支えてきた。しかし、これらのインフラの多くは築年数が経過しており老朽化が進行している。

この問題に対して、昨年12月に発生した千住大橋駅の橋桁倒壊事故は非常に深刻な警鐘を鳴らした。この事故が示すように、インフラの老朽化が招く安全リスクは、私たちの日常生活に直結している。

さらに、このような事故は足立区のみならず、全国各地で発生しており、特に八潮市や千葉県、愛知県など近隣地域においても道路の陥没やその他のインフラ関連の問題が報告されている。これらの問題が引き起こす社会的・経済的な影響は計り知れない。

それを受けて、足立区内では上下水道の緊急点検が行われたが、それだけでは不十分だ。公共のインフラ全般に対して、今後さらに徹底した安全対策が求められる。特に、道路、鉄道、空路、水路などのインフラ設備は、住民の生活や経済活動に直結しているため、点検や保守の手抜かりがあってはならない。

今後も安全で安定した生活環境を確保するためには、これらのインフラが健全に維持されることが不可欠である。また足立区をはじめとする東京のインフラが正常に機能しなければ、首都圏全体、さらには全国経済にも甚大な影響を与えることになる。

(1) したがって、道路や鉄道、空路などのインフラを所管する各機関には、定期的かつ徹底的な安全点検を実施することを区として強く求めるべきである。また、この問題を23区特別区長会や建設部長会を通じて、全区自治体に一貫した取り組みとして要請することが重要だと考えるがどうか。

(2) 時間の経過とともに今後もインフラの老朽化が進んでいく現状を踏まえ、早急に整備計画を見直し、着実に実行していくことが必要と考える。住民の安全を最優先に考えた施策を推進し、区民が安心して暮らせる環境を維持することが我々の責任だ。以上の点を踏まえ、行政として一層の取り組みを強く求めるがどうか。